

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

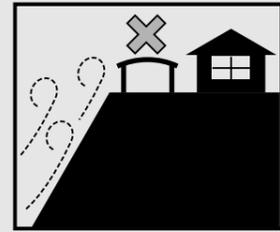
**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

#### ■設置条件

- 母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
- 本製品は、一般地域用600形です。  
一般地域用 600形…積雪20cm以下の地域
- 本製品は地面設置専用です。2階以上の高所に取付けると、強風により製品が破損するおそれがあります。
- 柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- 崖などの高低差のある場所には設置しないでください。



#### ■部材の固定

- タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。  
(φ4のねじに対しφ3.5、φ5のねじに対しφ4.5のドリルを使用してください。)
- 必ず指定の組立てねじ・ボルトを使用してください。又、取付け後、ねじ・ボルトに緩みがないか点検してください。

#### ■取付け時の足場について

- 取付け時は、製品の屋根には絶対にのらないでください。

#### ■基礎について

- 基礎の大きさは、指定寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 地下埋設物(給排水管など)に影響を与えないようご注意ください。
- コンクリート(又はモルタル)には海砂や急結剤は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
- 柱内の水抜きができるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷いてください。又柱の根元にも水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分(4日~1週間以上)とり、その間重いものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

#### ■絶縁処理について

- アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。

#### ■屋根材について

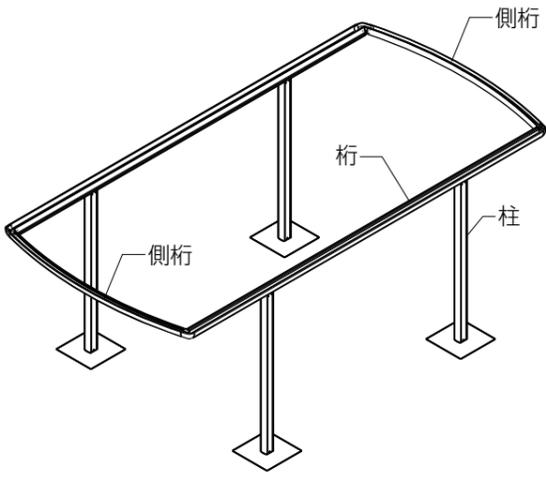
- 屋根材は当社指定品をご使用ください。

#### ■取付けについて

- むやみに改造・変更(階段屋根・母屋への取付け・四周の囲いなど)をしないでください。
- 取付けは取付け業者の方以外は行わないでください。不具合発生の原因となることがあります。
- シーリング指定個所には必ずコーキング材を充てんしてください。
- 電灯線などの電線を巻き付けないでください。漏電するおそれがあります。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- 屋根の上に物をのせないでください。

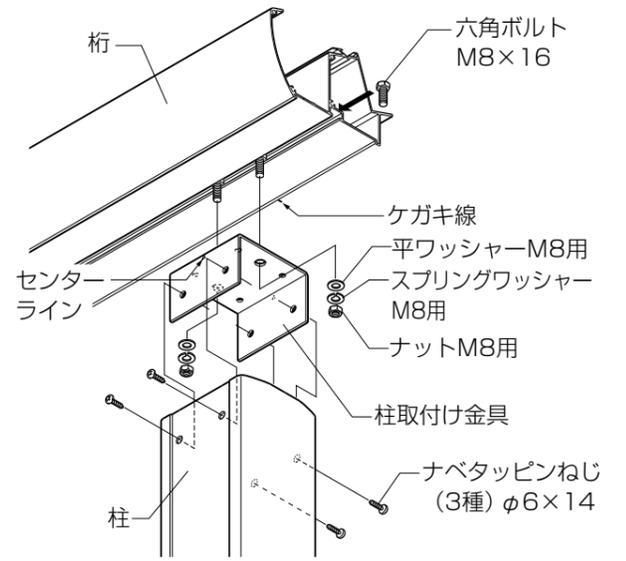


## 2 柱・側桁・桁の取付け

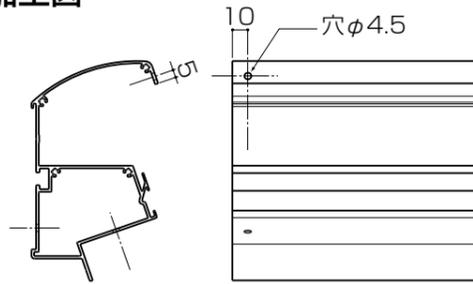


## 2 柱・側桁・桁の取付け

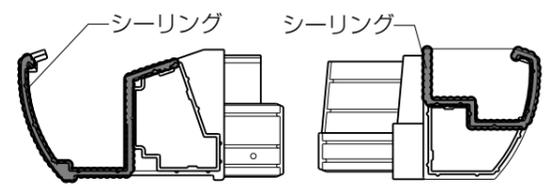
- ※取付け現場の状況に応じて屋根材の水こう配をどちらに取るか決定してください。  
 ※桁の水抜き穴は1箇所です。あらかじめ雨どいの取付け位置を考慮して桁を取付けてください。
- ①下図にしたがって、桁を加工します。
  - ②桁のボルトホールにM8のボルトを挿入します。  
(柱1本につきボルト2本)
  - ③桁と柱取付け金具をケガキ線に合わせて固定します。
  - ④柱と柱取付け金具を固定します。
  - ⑤コーナブロックのフィン部にコーキング材を充てんし、側桁→桁の順に固定します。  
(下図※印のねじは加工穴にコーキング材充てん後、ねじ止めしてください。)
  - ⑥右図の位置にコーキング材を充てんしてください。



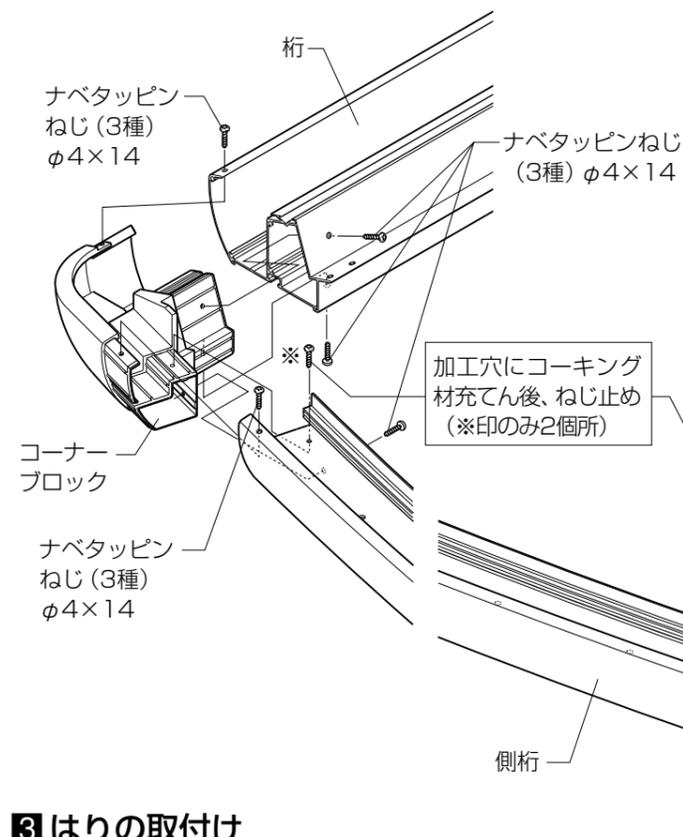
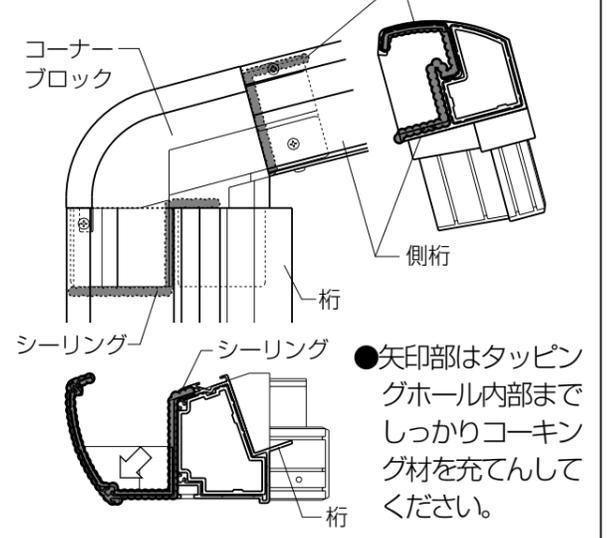
### ■桁加工図



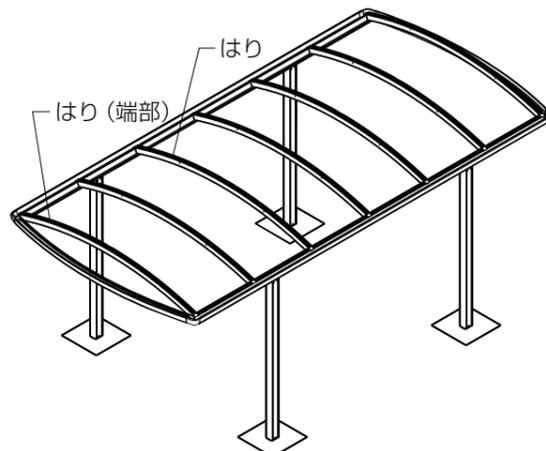
### ■コーナブロックフィン部シーリング箇所



### ■シーリング箇所(⑤)



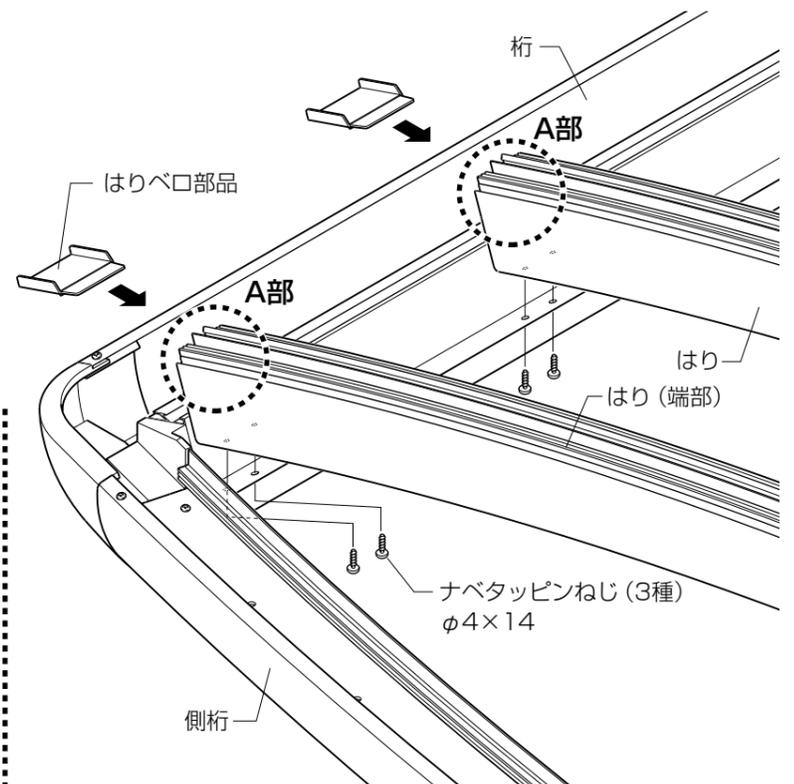
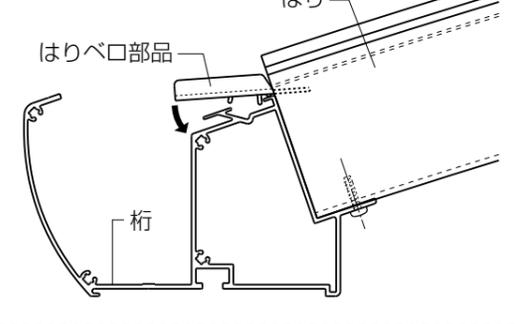
## 3 はりの取付け



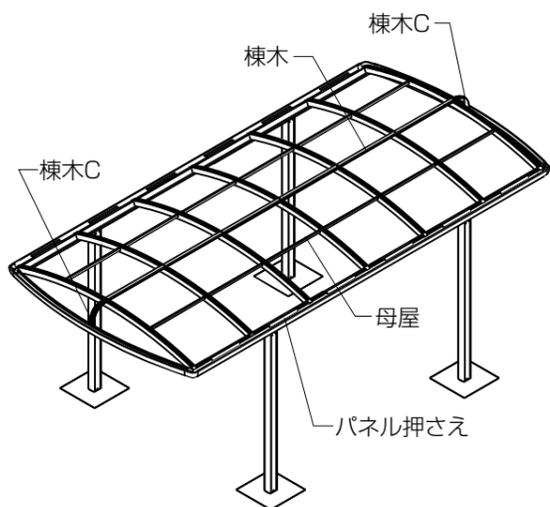
## 3 はりの取付け

- ①桁にはりを取付けます。
- ②はりにはりベロ部品を差込みます。  
(A部詳細図参照)
- ③屋根の対角・水平・柱の垂直を出します。(対角が出ていないとアクリル板の音鳴りの原因になります。)

### ■A部詳細図

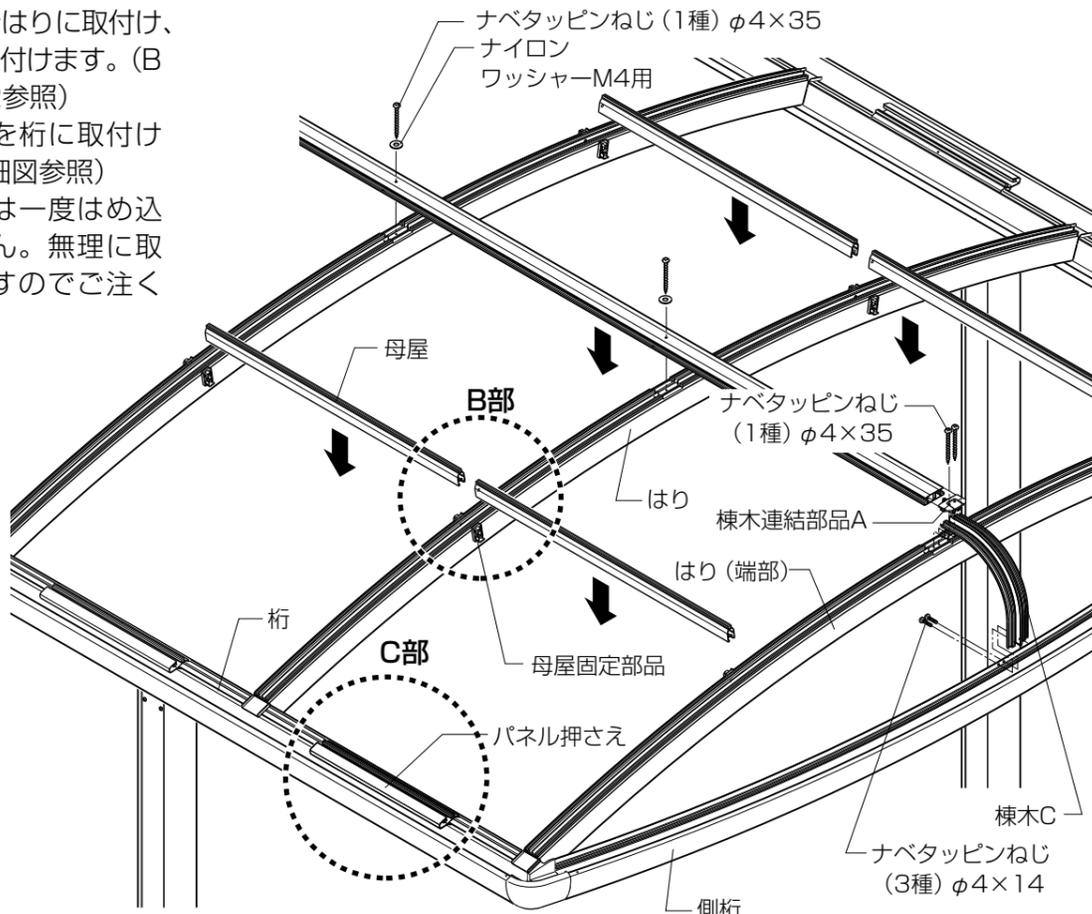


#### 4 棟木・棟木C・母屋・パネル押さえの取付け



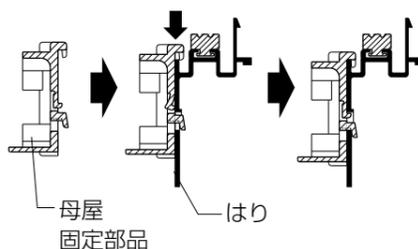
#### 4 棟木・棟木C・母屋・パネル押さえの取付け

- ①側桁に棟木Cを取付けます。
  - ②棟木端部に棟木連結部品Aを差込んで、棟木をはりに取付けます。
  - ③母屋固定部品をはりに取付け、母屋を上から取付けます。(B部詳細図-1、2参照)
  - ④パネル押さえを桁を取付けます。(C部詳細図参照)
- ※母屋固定部品は一度はめ込むと取れません。無理に取ると破損しますのでご注意ください。

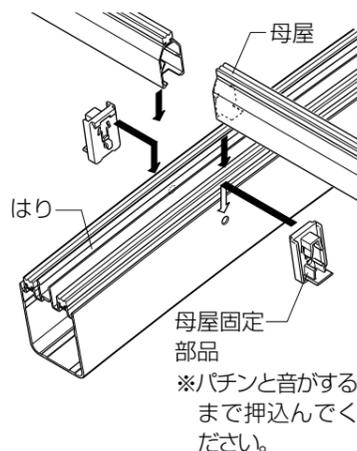


##### ■B部詳細図-1 (母屋固定部品取付け方法)

- フィンを引っ掛けて上から落とし込みながら取付けます。

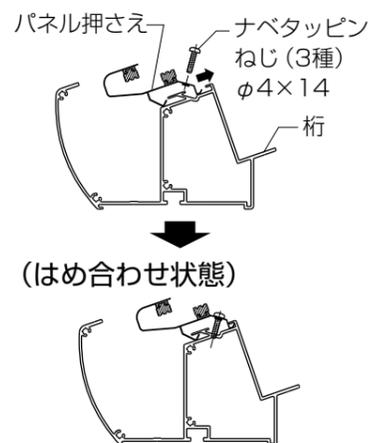


##### ■B部詳細図-2

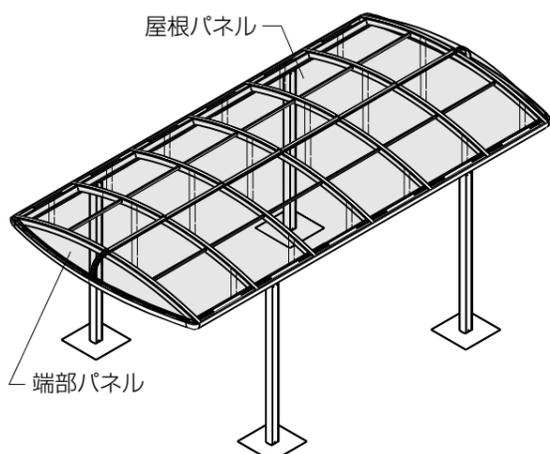


##### ■C部詳細図

※桁とはめ合っていることを確認してください。



#### 5 屋根パネルの取付け



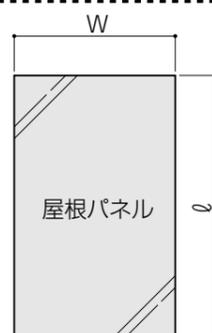
#### 5 屋根パネルの取付け

##### ■中間部パネルの取付け

- ①屋根パネル端部にグレチャンを取付けます。
  - ②棟木に水平に差込み、桁側をパネル押さへのすき間に差込みます。
  - ③はり部ののみ込みを左右均等(17mm)にします。
- ※アクリル板がはりのアルミ部分に当たっていないことを確認してください。(音鳴りの原因になります。)

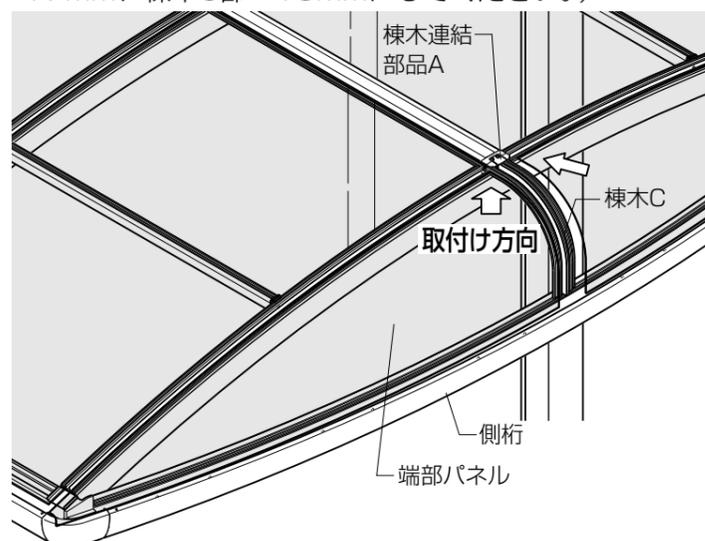
##### ●屋根パネル寸法 (単位: mm)

サイズ呼称	W	ℓ
27	819	1325
30	819	1484



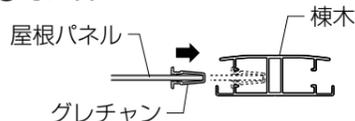
##### ■端部パネルの取付け

- パネル端部を棟木連結部品Aに差込み(合)の方向)、端部パネルをセットします。(パネルのみ込み寸法: はり部17mm、棟木C部: 18mmにしてください。)

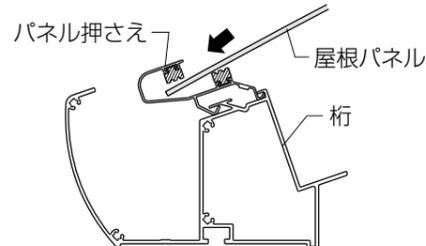


##### ■屋根パネル取付け順序

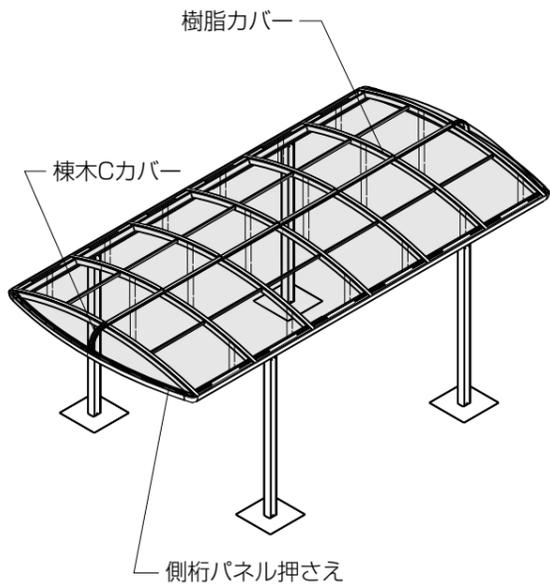
###### ①母屋部



###### ②桁部



## 6 側桁パネル押さえ・棟木Cカバー・樹脂カバーの取付け



## 6 側桁パネル押さえ・棟木Cカバー・樹脂カバーの取付け

●端部パネル→中間パネルの順で屋根パネルを固定します。

①側桁パネル押さえを取付けます。

②棟木Cカバーを取付けます。(上端を棟木連結部品Aに差込んで取付けてください。)

③樹脂カバーの斜めカット側を棟木・棟木連結部品Aのすき間に突き当たるまで差込みます。

④棟木側から長さの3分の1程たたき込んだ後、桁側を差込んでから全体をたたき込みます。

※はり(端部)への取付け時には、端部パネルのはりのみ込み寸法17mmを保持するよう、パネルを押さえながら樹脂カバーをたたき込んでください。

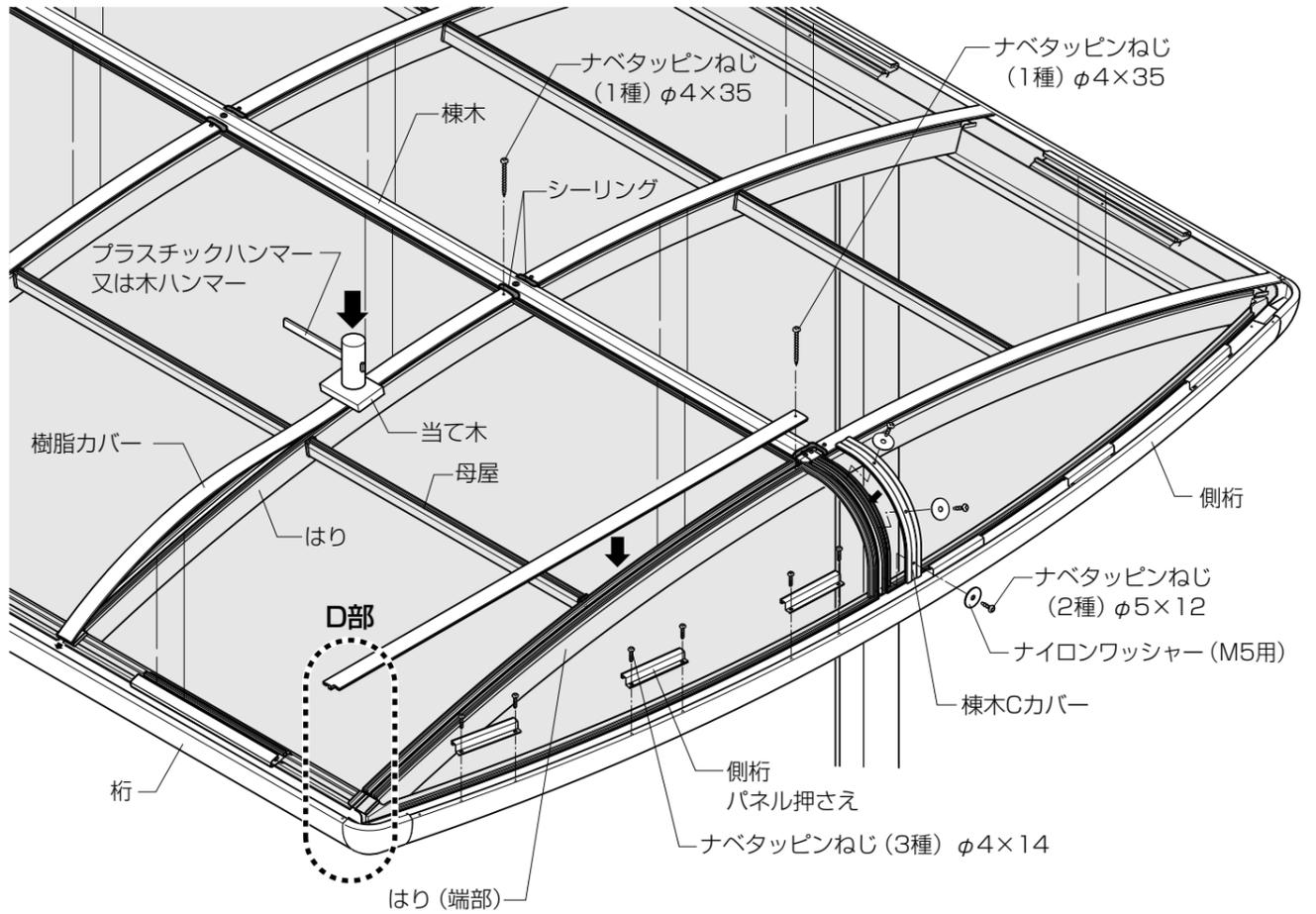
※必ず型材と樹脂カバーのはめ合せ位置が一致していることを確認してください。

※必ず当て木をしプラスチックハンマー又は木ハンマーでたたき込んでください。

※樹脂カバーの中央が少し凹むまでたたき込み、確実に取付いたことを確認してください。

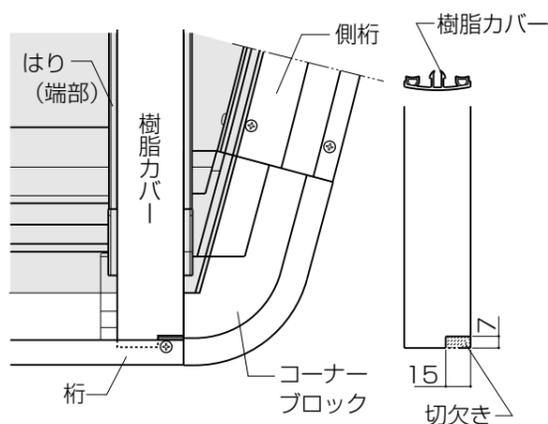
※1度使用した樹脂カバーは再度使用できませんのでご注意ください。

④樹脂カバーと棟木のすき間および棟木連結部品Aのまわりにコーキング材を充てんしてください。

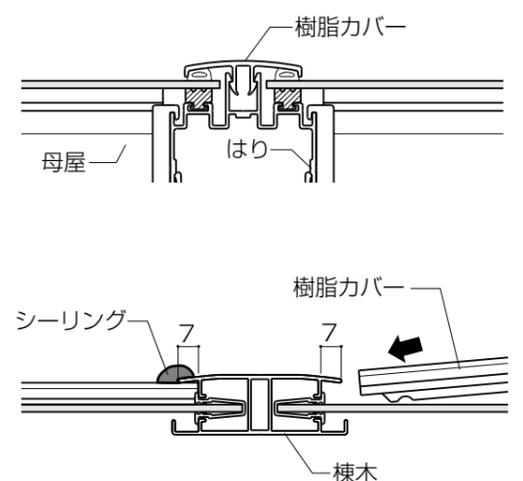


### ■樹脂カバー切欠き寸法 (D部)

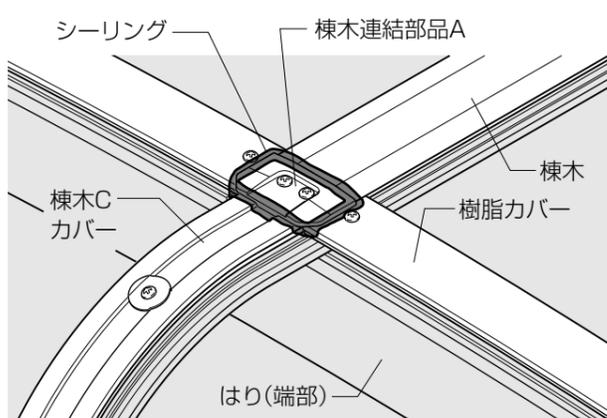
※端部はりに取付ける樹脂カバーは、桁側を下図のように切欠いてください。



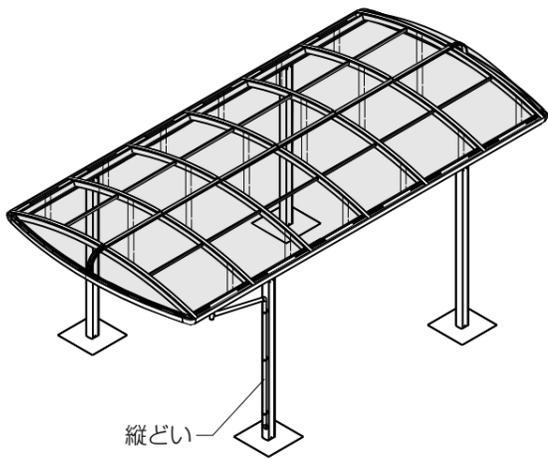
### ■樹脂カバー取付け位置



### ■棟木連結部シーリング箇所

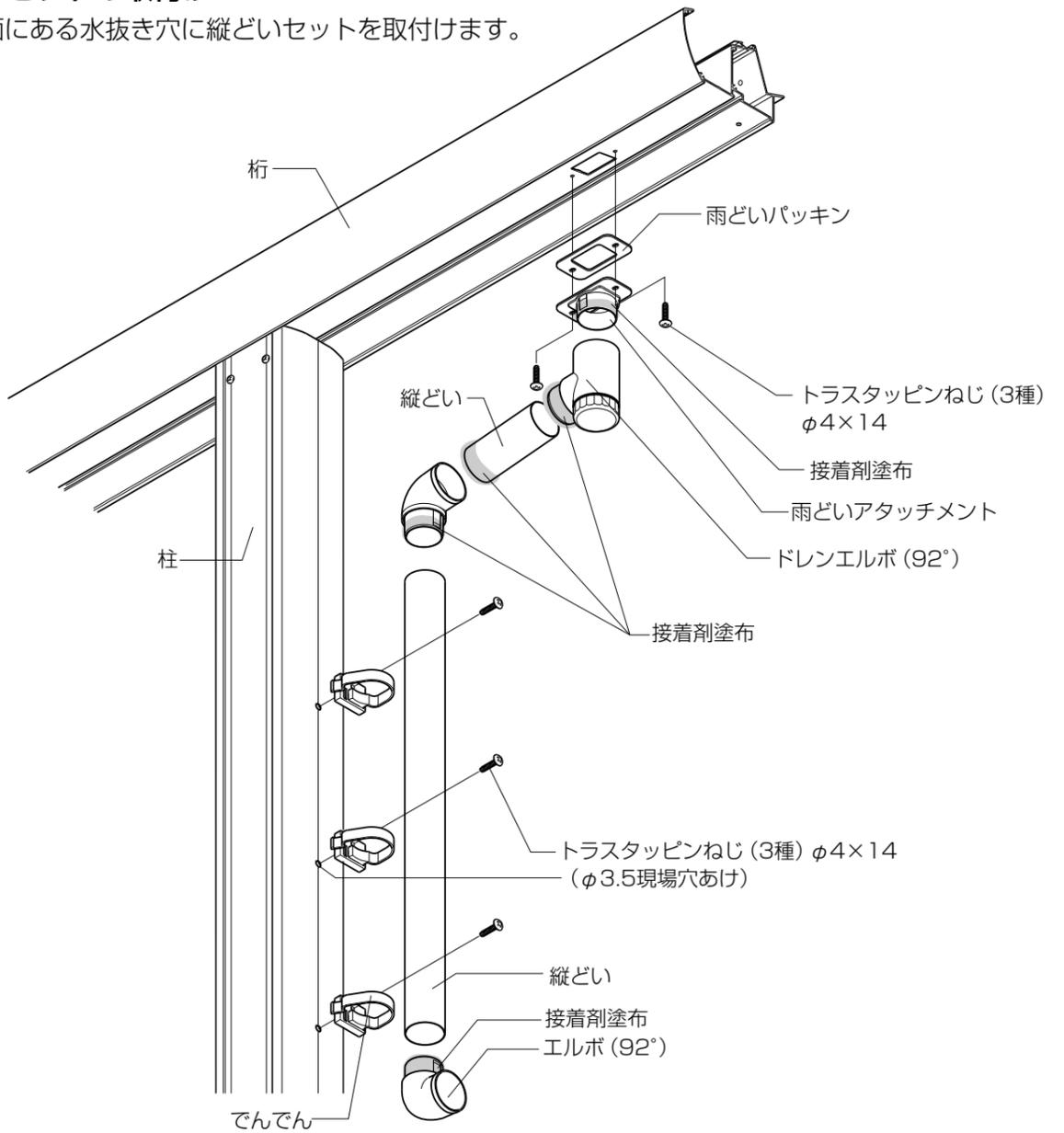


## 7 縦どいセットの取付け

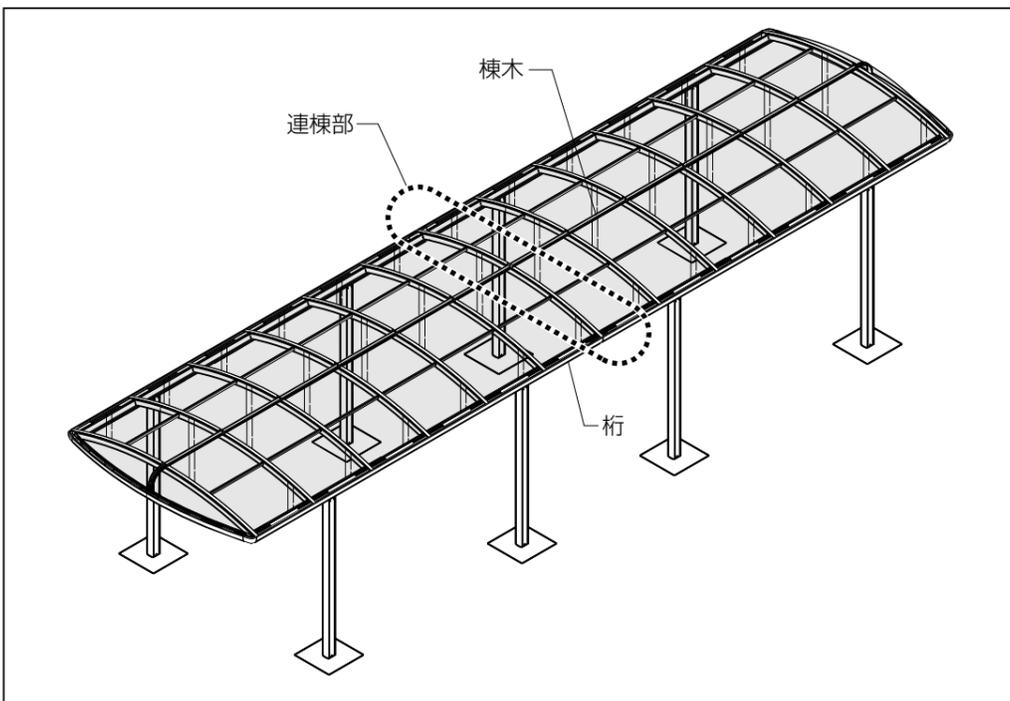


## 7 縦どいセットの取付け

● 桁の底面にある水抜き穴に縦どいセットを取付けます。



## 取付け順序 (縦連棟タイプ)

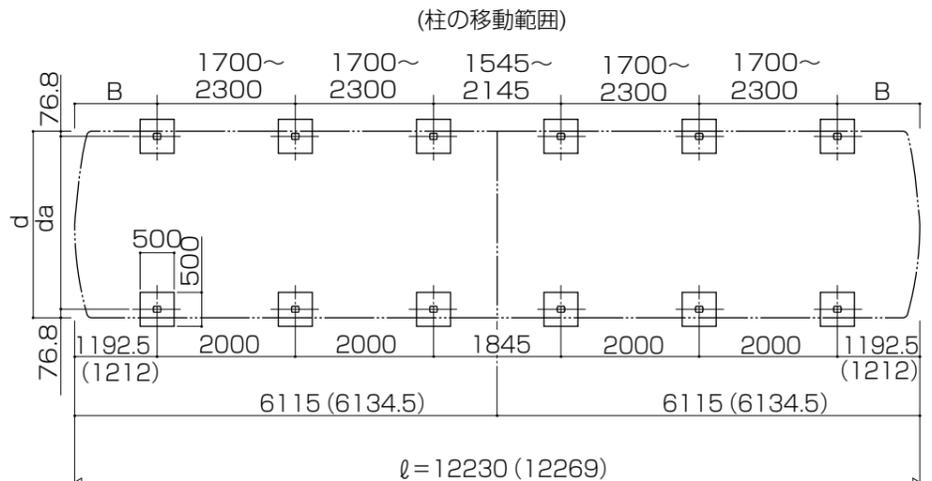
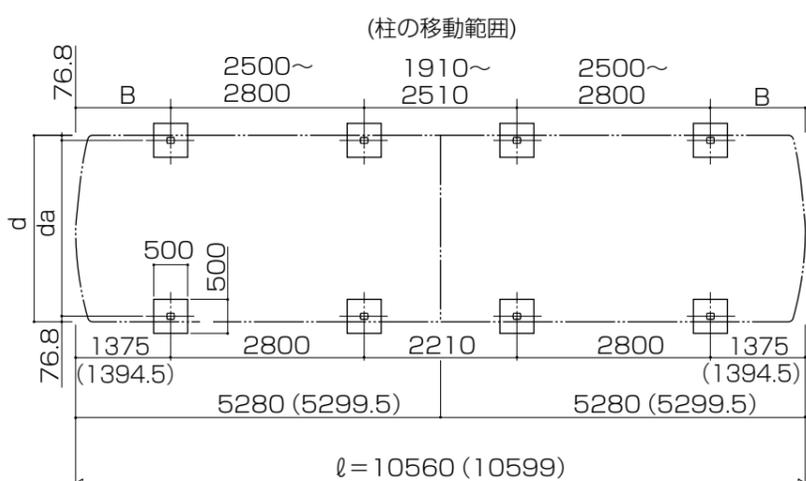


## 基礎の施工

● 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。

(単位: mm)

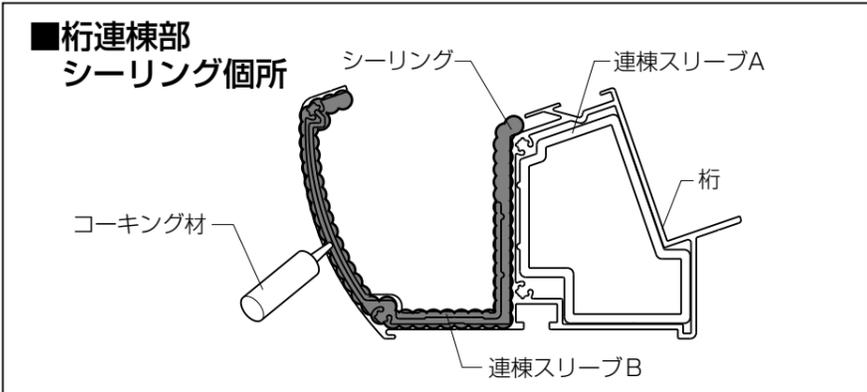
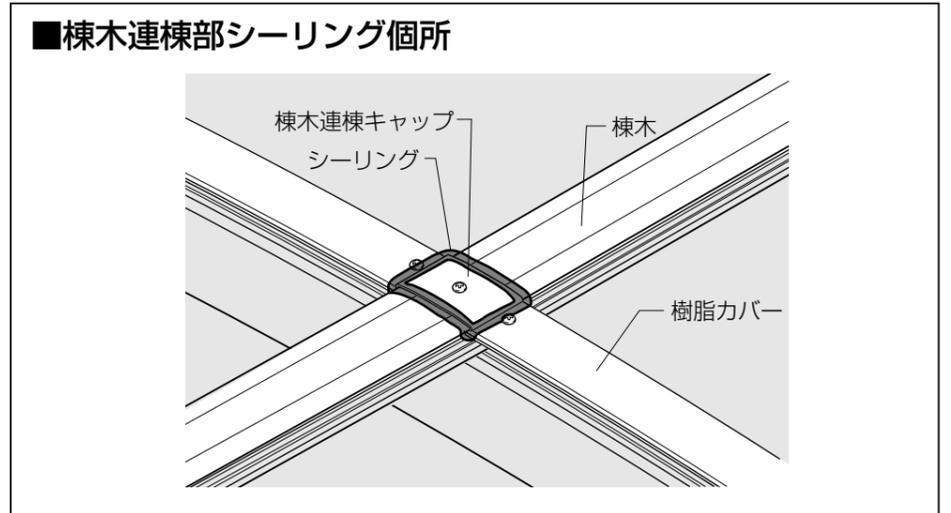
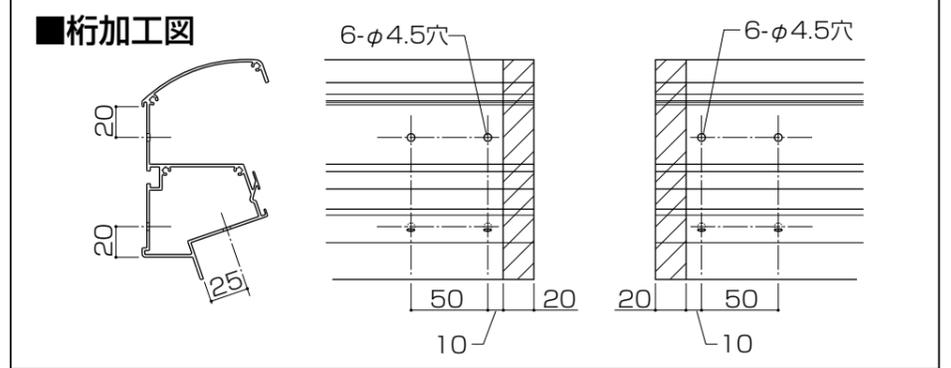
サイズ 呼称	d	da	B	
			51	59
27	2700	2546.4	1225	1042.5
			1525	1342.5
30	3000	2846.4	1244.5	1062
			1544.5	1362



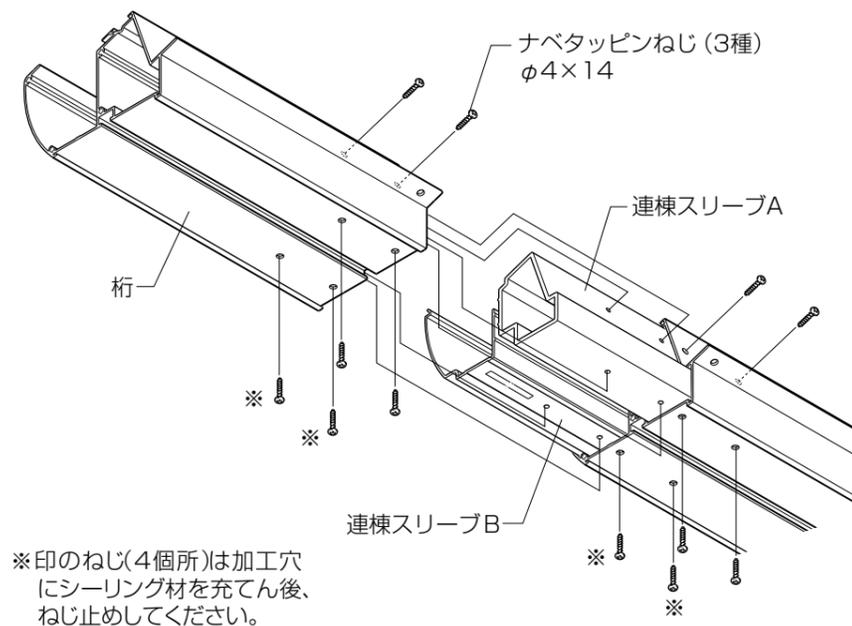
※ ( ) 内数字は30サイズを示します。

## ■縦連棟部の取付け

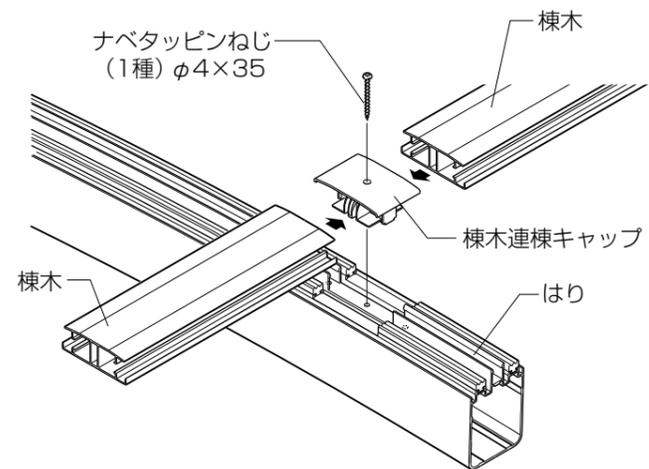
- ①右図にしたがって桁を加工します。
  - ②桁連棟部にシーリング材を充てんします。
  - ③連棟スリーブA、Bと桁を固定します。
  - ④棟木を棟木連棟キャップに差込んではりに取付けます。
  - ⑤パネル取付け後、棟木連棟キャップの回りにコーキング材を充てんしてください。
- ※縦連棟部以外の取付けは基本タイプを参照してください。  
※斜線部は現場切詰めしてください。



## ■桁連棟部

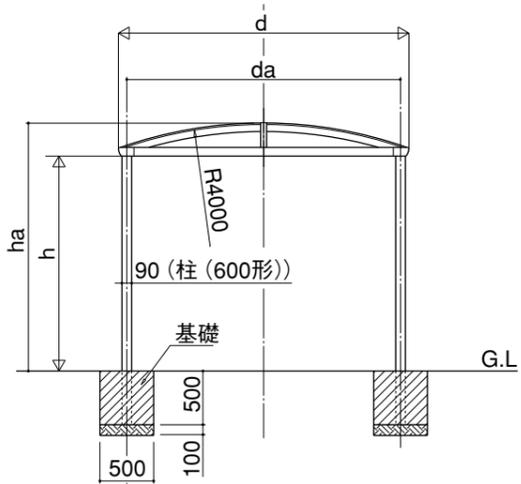


## ■棟木連棟部



## ■納まり図

### ■一般地域用 (DX)



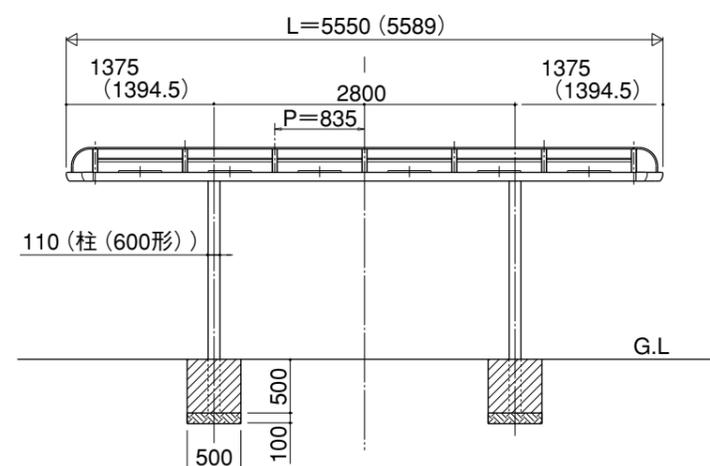
(単位: mm)

サイズ呼称	d	da
27	2700	2546.4
30	3000	2846.4

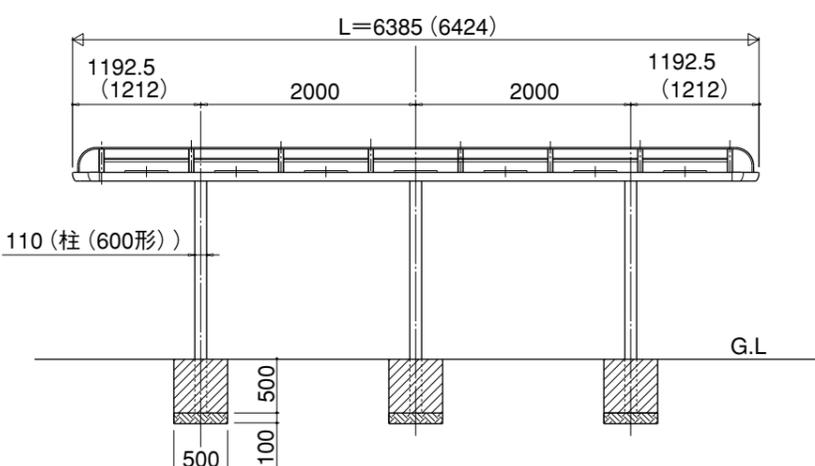
(単位: mm)

呼称	h	ha	
		27	30
標準	2000	2311.9	2364.6
ハイルーフ	2500	2811.9	2864.6

### ●51サイズ



### ●59サイズ



■納まり図

